

# 豊島区 介護サービス事業所調査のお願い

## ご協力をお願い

平素から、豊島区の介護保険事業にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

豊島区では、第9期介護保険事業計画（令和6～8年度）を策定するにあたり、区内の介護サービス事業所の皆様に今後の事業運営の見込みやご意見等をおうかがいするアンケート調査を実施することといたしました。

この調査結果は、介護サービス事業所の抱える課題への対応策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきます。お手数をおかけしますが、ご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月 豊島区 保健福祉部 介護保険課

## 記入上の注意

1. この調査は、令和4年11月1日現在の状況でお答えください。
2. この調査票は、封筒宛名のサービス種別ごとに送付しています。複数調査票が届いた事業所につきましては、サービス種別ごとに調査票の記入をお願いいたします。
3. 事業所単独では回答が難しい設問に関しては、貴事業所の運営主体である法人と調整のうえ、お答えください。
4. 濃い鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
5. ○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例：①・2・3）
6. 「その他」を選択された場合は（ ）内に具体的内容を記入してください。
7. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に封入し、

**令和4年12月5日（月）**までにご返送ください。

8. この調査に関するお問い合わせは、以下の担当までお願いいたします。

【調査についての問合せ先】

豊島区 保健福祉部 介護保険課 電話：03-3981-1942（直通）  
（平日8：30～17：00）



問4 貴事業所の、経営状況についてお答えください。(ひとつだけ○)

- |   |                |   |                |
|---|----------------|---|----------------|
| 1 | とても安定的に運営できている | 2 | 比較的安定的に運営できている |
| 3 | 少々厳しい          | 4 | かなり厳しい         |

問5 貴事業所の、今後4年間における事業展開の意向についてお答えください。(ひとつだけ○)

- |   |       |   |            |
|---|-------|---|------------|
| 1 | 現状維持  | 2 | 拡大・新規展開したい |
| 3 | 縮小したい | 4 | 休止・廃止したい   |

問6 令和4年11月1日現在の貴事業所における、従業員数（管理者や事務員も含む）についてお答えください。(ひとつだけ○)

- |   |    |   |      |   |       |   |        |   |        |
|---|----|---|------|---|-------|---|--------|---|--------|
| 1 | 1人 | 2 | 2～5人 | 3 | 6～29人 | 4 | 30～99人 | 5 | 100人以上 |
|---|----|---|------|---|-------|---|--------|---|--------|

## 2. 人材の確保・定着・育成について

問7 貴事業所における正社員・非正社員の、職種および年齢構成別の人数をご記入ください。  
無回答の場合には「0」として集計されます。(人数を記入)

正社員（管理者・事務員含む）	年齢構成						
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 訪問介護員（ヘルパー）	人	人	人	人	人	人	人
2 介護職員	人	人	人	人	人	人	人
3 看護師・准看護師	人	人	人	人	人	人	人
4 機能訓練指導員	人	人	人	人	人	人	人
5 介護支援専門員	人	人	人	人	人	人	人
6 福祉用具専門相談員	人	人	人	人	人	人	人
7 その他職員	人	人	人	人	人	人	人

※ 正社員：雇用している労働者で雇用期間の定めのない者

非正社員（管理者・事務員含む）	年齢構成						
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 訪問介護員（ヘルパー）	人	人	人	人	人	人	人
2 介護職員	人	人	人	人	人	人	人
3 看護師・准看護師	人	人	人	人	人	人	人
4 機能訓練指導員	人	人	人	人	人	人	人
5 介護支援専門員	人	人	人	人	人	人	人
6 福祉用具専門相談員	人	人	人	人	人	人	人
7 その他職員	人	人	人	人	人	人	人

※ 非正社員：正社員以外の労働者（契約社員、嘱託社員、臨時的雇用者、パートタイム労働者）

問8 貴事業所における、過去1年間（令和3年10月1日から令和4年9月30日）の介護職員の採用者数と離職者数をお答えください。なお、無回答は「0」として集計されます。（人数を記入）

正社員（管理者・事務員含む）		
職種	採用者数	離職者数
1 訪問介護員（ヘルパー）	人	人
2 介護職員	人	人
3 看護師・准看護師	人	人
4 機能訓練指導員	人	人
5 介護支援専門員	人	人
6 福祉用具専門相談員	人	人
7 その他職員	人	人

※ 正社員：雇用している労働者で雇用期間の定めのない者

非正社員（管理者・事務員含む）		
職種	採用者数	離職者数
1 訪問介護員（ヘルパー）	人	人
2 介護職員	人	人
3 看護師・准看護師	人	人
4 機能訓練指導員	人	人
5 介護支援専門員	人	人
6 福祉用具専門相談員	人	人
7 その他職員	人	人

※ 非正社員：正社員以外の労働者（契約社員、嘱託社員、臨時的雇用者、パートタイム労働者）

問9 貴事業所で実施する介護サービスに従事する職員について、職種・雇用形態ごとに現在募集している人数をお答えください。なお、無回答の場合には「0」として集計されます。（人数を記入）

職種	雇用形態	
	正社員	非正社員
1 訪問介護員（ヘルパー）	人	人
2 介護職員	人	人
3 看護師・准看護師	人	人
4 機能訓練指導員	人	人
5 介護支援専門員	人	人
6 福祉用具専門相談員	人	人
7 その他職員	人	人

問 10 貴事業所では、人材の確保に向けて、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 定期的に求人誌への掲載などを行っている                     |
| 2  | 就職説明会への参加を行っている                         |
| 3  | 福祉専門学校等教育機関との連携を図っている                   |
| 4  | ハローワークとの連携を図っている                        |
| 5  | 人材派遣会社との連携を図っている                        |
| 6  | 無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている          |
| 7  | 採用時に給与（賞与・手当含む）を他社より好条件に設定している          |
| 8  | 採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている             |
| 9  | 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている             |
| 10 | 採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている                |
| 11 | インターンシップ制度を導入している                       |
| 12 | その他（ <span style="float:right">）</span> |
| 13 | 特に何も行ってない                               |

問 11 人材の確保に向けて、どのような公的支援が必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 介護未経験者に対する資格取得のための費用助成                  |
| 2 | 介護の仕事の魅力発信等の普及啓発                        |
| 3 | 介護の職場体験                                 |
| 4 | 介護未経験者向けに介護に関する入門的研修の実施                 |
| 5 | 合同就職説明会の実施                              |
| 6 | 採用力向上のための講座、アドバイス                       |
| 7 | その他（ <span style="float:right">）</span> |

問 12 貴事業所では、人材の定着・育成（離職の防止）について、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 近隣の企業や同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している              |
| 2  | 永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている                   |
| 3  | 能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている                 |
| 4  | 非正規職員から正規職員への登用機会を設けている                     |
| 5  | 外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている              |
| 6  | 新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている |
| 7  | 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている                 |
| 8  | 休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている            |
| 9  | 上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている            |
| 10 | 仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている                        |
| 11 | 職員への満足度（不満）調査を行い、事務所における課題の把握を行っている         |
| 12 | ハラスメントや患者からの暴力等に対する相談窓口を設置している              |
| 13 | その他（ <span style="float: right;">）</span>   |
| 14 | 特に何も行っていない                                  |

問 13 人材の定着に向けて、どのような公的支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 新規就業者を対象とした介護技術等に関する合同研修                  |
| 2 | 新規就業者を対象としたキャリアプランに関する合同研修                |
| 3 | 中堅職員を対象とした介護技術等に関する合同研修                   |
| 4 | 中堅職員を対象としたキャリアプランに関する合同研修                 |
| 5 | 雇用定着をテーマにした管理職等に対する研修                     |
| 6 | 個別の職場・事務所へのアドバイザーの派遣（職員の働き方等に関する助言等）      |
| 7 | 子育て中の職員に対する処遇改善にかかる補助                     |
| 8 | その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問 14 貴事業所における、介護職員としての外国人労働者の受け入れ状況について教えてください。（ひとつだけ○）

- |   |   |            |
|---|---|------------|
| 1 | 現在受け入れているまたは受け入れたことがあり、今後も受け入れを検討している     | ➡ 問 14-1 へ |
| 2 | 受け入れた経験がないが、受け入れを検討している                   | ➡ 問 15 へ   |
| 3 | 受け入れた経験がなく、受け入れを検討していない                   | ➡ 問 15 へ   |
| 4 | 受け入れた経験があるが、今後は受け入れを検討していない               | ➡ 問 14-1 へ |
| 5 | その他（ <span style="float: right;">）</span> | ➡ 問 15 へ   |

問 14-1 【問 14 で、「1」または「4」に回答した方のみにおうかがいします。】貴事業所で就業歴のある外国人はどのような制度で雇用された方ですか。雇用時点で利用していた制度についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- |   |   |
|---|---|
| 1 | EPA（経済連携協定）による介護福祉士候補者の雇用・研修            |
| 2 | EPA（経済連携協定）により介護福祉士資格を取得した外国人の雇用        |
| 3 | 日本の介護福祉養成校に通う外国人留学生のアルバイト雇用             |
| 4 | 在留資格「介護」を持つ外国人の雇用                       |
| 5 | 技能実習制度を活用した外国人（技能実習生）の雇用                |
| 6 | 在留資格「特定技能1号」を持つ外国人の雇用                   |
| 7 | 身分に基づく在留者（定住者（主に日系人）、永住者、日本人の配偶者等）      |
| 8 | その他（ <span style="float:right">）</span> |
| 9 | 不明                                      |

問 14-2 【問 14 で、「1」または「4」に回答した方のみにおうかがいします。】貴事業所で就業歴のある外国人の出身国はどちらですか。（あてはまるものすべてに○）

- |    |   |    |        |
|----|---|----|--------|
| 1  | 中国                                      | 2  | フィリピン  |
| 3  | ベトナム                                    | 4  | ミャンマー  |
| 5  | モンゴル                                    | 6  | インドネシア |
| 7  | カンボジア                                   | 8  | スリランカ  |
| 9  | タイ                                      | 10 | ネパール   |
| 11 | その他（ <span style="float:right">）</span> |    |        |

問 15 貴事業所において外国人の受け入れにあたって課題と思われること（なっていること）を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

① 受け入れ時に課題と思われる（なっている）こと

- |   |                  |   |   |
|---|------------------|---|---|
| 1 | 受け入れにあたっての手続き・方法 | 2 | 受け入れにあたっての費用                            |
| 3 | 受け入れにあたっての情報の入手  | 4 | 複数の事業所と情報共有を行う場が無い                      |
| 5 | 求める人材等とのマッチング    | 6 | その他（ <span style="float:right">）</span> |
| 7 | 特になし             |   |   |

② 受け入れ後に課題と思われる（なっている）こと

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 日本人職員との会話等における意思疎通に支障がある                |
| 2 | 利用者・家族との会話等における意思疎通に支障がある               |
| 3 | 日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障がある         |
| 4 | 生活、習慣等の違いにより、日常業務に支障がある                 |
| 5 | 外国人職員の指導にあたる日本人職員の負担が増加する               |
| 6 | 人件費以外にさまざまなコストがかかる                      |
| 7 | その他（ <span style="float:right">）</span> |
| 8 | 特になし                                    |

問 16 貴事業所で業務改善のために導入している・導入を検討している ICT ツールはどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

1	基本情報作成ツール（利用者情報の登録・参照・更新・削除）
2	シフト表作成ツール（ヘルパーのシフト表を自動作成）
3	計画書作成ツール（サービス計画やサービス提供票の登録・参照・更新・削除など）
4	記録作成ツール（介護記録や業務日誌、連絡帳の登録・参照・更新・削除など）
5	実績化ツール（各種記録と報酬請求情報の突合）
6	請求管理ツール（事業所加減算の管理、算定処理、集計処理、利用者負担の請求など）
7	介護報酬請求ツール（国保連合会への報酬請求の際の確認）
8	その他（ ）
9	ICT ツールの導入をしていない・検討していない

問 17 貴事業所において ICT ツールの導入にあたって課題となっていることを具体的に教えてください。(あてはまるものすべてに○)

① 導入時に関する課題

1	ICT ツールの種類が分からない	2	導入費用の負担が大きい
3	実際に使用しないと便利かわからない	4	職員の負担が軽減されるかわからない
5	その他（ ）	6	特になし

② 導入後の運用に関する課題

1	ICT ツールを使いこなせるか不安がある	2	運用費の負担が大きい
3	職員の負担が軽減されない	4	メンテナンスに係る手間が負担
5	その他（ ）	6	特になし

問 18 国は介護サービスに係る指定及び報酬請求（加算届出を含む）に関連する申請・届出について、介護事業所が所要の申請・届出を簡易に行うことを可能とする観点から、令和 7 年度までにすべての自治体で「電子申請届出システム」を利用して手続きを完結できるようにするとしています。が、「電子申請届出システム」が開始された場合の貴事業所の利用意向について教えてください。(ひとつだけ○)

1	すぐにでも利用したい	2	内容によっては利用したい
3	あまり利用したくない	4	利用したくない
5	その他（ ）		

問 19 貴事業所において介護助手（介護補助）は導入していますか。(ひとつだけ○)【介護助手とは、介護施設や事務所等で掃除や食事の配膳・片づけ、ベッドメイキング、利用者の話相手等、身体介護以外の業務で、介護職員の補助的な業務を担う仕事です。ボランティアではありません。資格の必要がない職種です。】

1	導入している	➡	問 19-1 へ
2	導入していないが、導入を検討・予定している	➡	問 19-3 へ
3	導入していない、予定もない	➡	問 20 へ
4	その他（ ）	➡	問 20 へ

問 19-1 【問 19 で、「1」または「2」に回答した方のみにおうかがいします。】どのような人材を活用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 介護の資格取得予定者	2 元気高齢者
3 時短勤務の出来る方(主婦等)	4 その他( )

問 19-2 【問 19 で、「1」または「2」に回答した方のみにおうかがいします。】どのような業務での活用を考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 食事の配膳やベッドメイキング	2 掃除、備品の準備・整理
3 認知症の方の見守り	4 サービス利用者の話し相手
5 事務(経理・人事・総務等)	6 その他( )

問 19-3 【問 19 で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】導入しないと考える理由をお聞かせください。

--

### 3. 処遇改善の状況について

問 20 【問 20 は訪問看護、訪問リハビリテーション、福祉用具貸与、居宅介護支援以外の事業所がお答えください。】貴事業所では、介護職員等ベースアップ等支援加算を申請していますか。(ひとつだけ○)

1 申請している	➡ 問 20-1 へ
2 申請していない	➡ 問 20-2 へ

問 20-1 【問 20 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】介護職員等ベースアップ等支援加算を利用した処遇の改善を図ったことで、貴事業所の従業員にどのような効果があったと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 離職率が下がった	2 職場の雰囲気が活性化した
3 職員の意欲が向上した	4 その他( )
5 あまり効果はみられなかった	

問 20-2 【問 20 で、「2」に回答した方のみにおうかがいします。】介護職員等ベースアップ等支援加算の申請を行っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 制度を知らないから	2 申請方法がわからないから
3 申請に手間がかかるから	4 申請してもメリットが少ないから
5 対象となる職員がいないから	6 経営状況から取得できないから
7 その他( )	

## 4. 各種連携の状況について

問 21 【問 21 は居宅介護支援以外の事業所がお答えください。】高齢者への適切なケアの提供にあたっては、ケアマネジャーと十分な連携がとれていることが重要ですが、貴事業所にとって、ケアマネジャーとの連携における課題は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| 1 | 日程が合わず、サービス担当者会議へ参加できないことが多いこと |
| 2 | 必要な情報の共有が上手く図れないこと             |
| 3 | 連携のために必要となる時間や労力が大きいこと         |
| 4 | お互いの都合で、対応が遅れる場合があること          |
| 5 | ケアマネジャーと話し合う機会が少ないこと           |
| 6 | その他 ( )                        |
| 7 | 特に無い                           |

問 22 貴事業所では、喀痰吸引等登録事業者の登録をしていますか。(ひとつだけ○)

- |   |           |   |           |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | すでに登録している | 2 | 登録を検討している |
| 3 | 登録していない   | 4 | その他 ( )   |

問 23 貴事業所の介護職員の中で認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けている方の人数をお答えください。(喀痰吸引等登録事業者以外もお答えください。把握している範囲で結構です。)(人数を記入)

(人)

問 24 貴事業所では、ターミナルケアに取り組むにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |              |   |            |
|---|--------------|---|------------|
| 1 | 医療的知識の不足     | 2 | 医療機関との連携不足 |
| 3 | 介護職員の研修機会の不足 | 4 | その他 ( )    |
| 5 | 特にない         |   |            |

## 5. サービスの質の向上について

問 25 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |    |                                   |  |
|----|-----------------------------------|--|
| 1  | サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している        |  |
| 2  | 事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている     |  |
| 3  | 利用者や家族に対し満足度調査を行っている              |  |
| 4  | 積極的に外部評価を受けている (ISO、第三者評価など)      |  |
| 5  | 独自の自己評価を実施している                    |  |
| 6  | 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している         |  |
| 7  | 現場のスタッフがケース検討会などを行っている            |  |
| 8  | 利用者や家族から意見を募っている (メール、郵送、意見箱の設置等) |  |
| 9  | 各種研修会、学習会、セミナー等への参加を促している         |  |
| 10 | その他 ( )                           |  |
| 11 | 特に行っていない                          |  |

問 26 貴事業所では、第三者評価を受けていますか。(ひとつだけ○)

- |   |                           |            |
|---|---------------------------|------------|
| 1 | 評価を受けている                  | ➡ 問 27 へ   |
| 2 | 評価を受けていないが、今後受けることを予定している | ➡ 問 27 へ   |
| 3 | 評価を受けていない、今後も予定していない      | ➡ 問 26-1 へ |
| 4 | 評価を受けたことがあるが、今は受けていない     |            |

問 26-1 【問 26 で、「3」または「4」に回答した方のみにおうかがいします。】第三者評価を受けない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |                 |   |                   |
|---|-----------------|---|-------------------|
| 1 | 制度を知らないから       | 2 | 受ける方法がわからないから     |
| 3 | 受ける手間やコストがかかるから | 4 | 評価を受けてもメリットが少ないから |
| 5 | その他 ( )         | 6 | わからない             |

問 27 過去 1 年間 (令和 3 年 10 月 1 日から令和 4 年 9 月 30 日) に、貴事業所の従業員に対する利用者・家族等からのハラスメント (セクハラ、パワハラ等) について、従業員等から相談や報告等ありましたか。(ひとつだけ○)

- |   |         |   |      |
|---|---------|---|------|
| 1 | あった     | 2 | なかった |
| 3 | 把握していない |   |      |

問 28 ハラスメントに対して、どのような公的支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |             |   |                  |
|---|-------------|---|------------------|
| 1 | 利用者・家族への啓発  | 2 | ハラスメント対策のマニュアル整備 |
| 3 | ハラスメント対策の研修 | 4 | 相談体制の構築          |
| 5 | その他 ( )     | 6 | 特にない             |

問 29 国は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等の観点から、虐待の発生又はその再発を防止するための委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者を定めることを義務付けています。(令和6年3月31日まで努力義務) 貴事業所では、上記の虐待の防止にかかる措置を講じていますか。(ひとつだけ○)

- |   |             |   |          |
|---|-------------|---|----------|
| 1 | すでに措置を講じている | 2 | 現在対応中である |
| 3 | 措置を講じていない   |   |          |

## 6. 災害時の対応について

問 30 国は、省令により、2024年までにBCP(事業継続計画)の策定を義務づけています。貴事業所ではBCPを策定されていますか。(ひとつだけ○)

- |   |         |   |        |
|---|---------|---|--------|
| 1 | 策定済である  | ➔ | 問30-1へ |
| 2 | 策定中である  | ➔ | 問31へ   |
| 3 | 策定していない | ➔ | 問30-3へ |

問 30-1 【問30で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】計画の見直しはどのように想定されていますか。(ひとつだけ○)

- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 年に1回程度見直しを行うことを想定している               |
| 2 | 複数年に1回程度見直しを行うことを想定している             |
| 3 | 国や都・区のガイドライン等が変更されたら見直しを行うことを想定している |
| 4 | 見直しを想定していない                         |
| 5 | その他 ( )                             |
| 6 | 分からない                               |

問 30-2 【問30で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】計画に基づく訓練は行われていますか。(ひとつだけ○)

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| 1 | 定期的に訓練を行っている                 |
| 2 | 計画の中には「訓練」が記載されているが、まだ行っていない |
| 3 | 訓練することを想定していない               |
| 4 | その他 ( )                      |
| 5 | 分からない                        |

問 30-3 【問30で、「3」に回答した方のみにおうかがいします。】策定していない理由は何ですか。(ひとつだけ○)

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | 2024年までには策定するつもりである |
| 2 | 策定する方法が分からない        |
| 3 | 策定する必要性を感じていない      |
| 4 | その他 ( )             |
| 5 | 分からない               |

問 31 【問 31 は訪問系のサービスを取り扱っている事業所のみお答えください。】

令和4年10月までの間で、新型コロナウイルス感染症を理由としてサービスの提供ができなかったことはありますか。(ひとつだけに○)

1 あった → 問 31-1 へ

2 なかった → 問 32 へ

問 31-1 【問 31 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】サービスの提供ができなかった理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 事業所が休止中だった
- 2 職員（ヘルパー）の確保ができなかった
- 3 本人、家族からサービスの提供を断られた
- 4 その他（ )

問 31-2 【問 31 で、「1」に回答した方のみにおうかがいします。】サービスの提供ができなかった際にどのような対応をとりましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 別の事業者で代替サービスを手配した
- 2 ケアマネジャーに調整を依頼した
- 3 家族・親族に対応を依頼した
- 4 特に対応しなかった
- 5 その他（ )

問 32 新型コロナウイルス感染拡大対策の現状や、今後の大規模災害が発生した場合の取り組みに関して、課題等があればご自由にお書きください。

★最後に、今後の介護サービス基盤や地域包括ケアシステムの構築についてご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。  
調査票を同封の返信用封筒に入れて、12月5日(月)までに返送(投函)してください。  
(切手を貼る必要はありません。)